

第38回 国立市健康危機管理対策本部会議記録

日時	令和4年9月21日（水）15時00分から15時45分
場所	市役所2階 市長公室
出席者	永見市長、竹内副市長、雨宮教育長、藤崎行政管理部長、松葉子ども家庭部長、馬橋子ども家庭部参事、大川健康福祉部長、葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、黒澤生活環境部長(健康福祉部参事)、中島基盤整備担当部長、橋本教育部長、内藤議会事務局長、林会計管理者 玉江選挙管理委員会事務局長、佐伯オンブズマン事務局長、菅野監査委員事務局長
付議事項	<p>(1) 都内・市内の状況について</p> <p>①東京都の状況（資料No.1～4・6）</p> <p>②市内の状況</p> <p>(2) 自宅療養支援室の対応について</p> <p>(3) 市の対処方針について</p> <p>①9/26～全数把握の見直しについて</p> <p>②ワクチン接種について</p> <p>③抗原検査キットの配布について</p> <p>④職員の就業状況対応について</p> <p>(4) その他</p> <p>①消防機関からの情報</p>
主な内容	(進行：大川健康福祉部長)
1 議 題	<p>(1) 都内・市内の状況について（橋本健康まちづくり戦略室長）</p> <p>①都内の状況(資料No.1～4・6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値は前回と比較すると、発熱等相談件数と陽性率は横ばいであるが、それ以外のモニタリング項目においては、下降傾向にあり、「感染状況は拡大傾向にないが、警戒が必要である」と分析されている。 ・コロナとの共存に向けた都の方針と取組で、①保健・医療提供体制の充実、②ワクチン接種の促進、③感染防止対策の徹底を柱とし、感染拡大防止と社会経済活動の回復との両立を進める。 <p>②市内の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月の感染者数は、20日時点で1,000人を超えている。 10代未満の感染が割合的に最も多く、20%を占めている。 <p>(2) 自宅療養支援室の対応について（葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・濃厚接触者の短時間の買い物可が周知されてきたのか、物資の置き配件数は減少傾向にある。パルスオキシメーターの配達は1～3件/日あり、対応している。 <p>(3) 市の対処方針について（橋本健康まちづくり戦略室長）</p> <p>①9/26～の全数把握の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生届の対象者が限定されることになるが、保健所と今後の対応について協議し、入院された方や70歳以上のフォローは引き続き行っていく。 <p>②ワクチン接種について（黒澤生活環境部長(健康福祉部参事)）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オミクロン株対応ワクチンの接種が9/27～開始する。予約については、空きがある。 <p>③抗原検査キット</p> <p>感染拡大防止を徹底しつつ、拡大させないために検査キットを活用したい。</p> <p>④職員の就業状況対応について（藤崎行政管理部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気、手指の消毒など感染症対策を改めて徹底するよう通知する。

(4) その他

①消防からの情報（松平防災安全課長）

熱中症の搬送も落ち着き、病院の搬送もできている。

2 本部長指示及び対応方針について

落ち着いてきていると言っても、感染者は減り切っていない。甘く見ず、まん延防止を徹底しながら業務を遂行してほしい。

以上